

I 学校の教育目標

豊かな人間性と学びに向かい続ける力を身につけ、たくましく行動できる子どもの育成

協働して課題解決に向かう能力

III 児童・生徒の課題

	学力状況について	学習状況について
児童の課題	○「1月実施学力調査」の結果 ・1年生～6年生の18教科中、7教科で全国正答率を上回った。 ○課題 ・言語事項の定着不足。「文章を書く」力の不足。 ・社会や理科では、基礎基本の知識の定着不足。 ・国語、算数、社会、理科の全般において、活用力の不足。	○令和3年度学力向上プランにおいて、授業者が単元計画を作成することで、思考・判断・表現にウェイトをおく時間と知識・技能にウェイトをおく時間をはっきりさせることができ、児童が積極的に発言する姿がずいぶん見られるようになった。しかし、発言内容の質の向上については今後の継続課題として残った。

IV 学校評価4点セットの学力に関する達成指標

○思考力・表現力の育成・・・「授業中に自分の考えを進んで発言している」と回答する児童45%(A)以上。
○課題解決力の育成・・・「授業中、友だちと話し合っ問題解決しようとしている」と回答する児童70%(A+B)以上。

V 授業改善の取組(「授業改善の5点セット」目標達成に向けた組織的な授業改善)

①授業改善テーマ	自ら考え、表現する子どもの育成
②授業改善の重点	自ら考え、「数学的な見方・考え方」を活用した授業の実施

	③取組内容	④取組指標	⑤検証指標	検証(成果・課題)
1学期	・児童が自分の考えを持つことができる授業を構築するために、目的に応じて図、数、式、表、グラフ等を活用し、「自分の考えを持つ時間」を効果的に設定する。	・授業者は、単元の7割以上で考えを表現するための時間と場を設定する。(個人・ペア・班・一斉)	・「授業中に自分の考えを進んで発言している」と回答する児童45%(A)以上。	・単元に2回以上自分の考えを書かせる授業を仕組むことができた授業者は90%。見直しを持たせ、書かせる時間を保障する意識が広がっている。 ・進んで発言した児童は31.3%。意図的なペア、グループトークの仕組み方や児童の経験不足への工夫が必要である。。

	③取組内容	④取組指標	⑤検証指標	検証(成果・課題)
2学期	・児童が自分の考えを持つことができる授業を構築するために、目的に応じて図、数、式、表、グラフ等を活用し、「自分の考えを持つ時間」を効果的に設定する。	・授業者は、単元の7割以上で考えを表現するための時間と場を設定する。(個人・ペア・班・一斉)	・「授業中に自分の考えを進んで発言している」と回答する児童35%(A)以上。	・単元に2回以上、課題解決に向けた自分の考えを書かせる授業を仕組むことができた授業者は100%。児童全員が書くことを継続させていく。 ・児童アンケート「進んで発言した」のA評価の児童は41%。ペア・グループ・一斉のいずれかで全員が発言することを継続させる。

	③取組内容	④取組指標	⑤検証指標	検証(成果・課題)
3学期	・児童が自分の考えを持つことができる授業を構築するために、目的に応じて図、数、式、表、グラフ等を活用し、「自分の考えを持つ時間」を効果的に設定する。	・授業者は、単元の7割以上で考えを表現するための時間と場を設定する。(個人・ペア・班・一斉)	・「授業中に自分の考えを進んで発言している」と回答する児童35%(A)以上。	

VI 学習定着状況の把握とフォローの取組 および

個に応じた学習の取組(補充学習・習熟度別指導等) ※評価はプルダウンで選択

	重点的取組	取組指標	評価
1学期	基礎基本的な学習内容の未定着な児童に対する、朝活動・放課後での補充学習および個別指導。	・担任は週に3～4回程度、朝活動や放課後に補充学習や個別指導を行う。	◎
2学期	基礎基本的な学習内容の未定着な児童に対する、朝活動・放課後での補充学習および個別指導。	・担任は週に3～4回程度、朝活動や放課後に補充学習や個別指導を行い、特別支援学級担任や専科教員は週1回支援に入る。	◎
3学期	基礎基本的な学習内容の未定着な児童に対する、朝活動・放課後での補充学習および個別指導。	・担任は週に3～4回程度、朝活動や放課後に補充学習や個別指導を行い、特別支援学級担任や専科教員は週1回支援に入る。	◎

◎=達成(10割以上)、○=概ね達成(8割以上)、△=やや未達成(6割以上)、×=未達成(6割未満)

VII 学校・家庭・地域の協働の取組

※評価はプルダウンで選択

	重点的取組	取組指標	1学期	2学期	3学期
家庭	家庭学習(10分×学年+10分)の取り組み。	保護者は子どもが家庭学習に集中できる環境をつくる(場所、テレビoffなど)。	◎	◎	◎
地域	ボランティアによる読み聞かせ。	ボランティアの方は、月に2回、朝活動の時間に読み聞かせを行う。	◎	◎	◎

◎=達成(10割以上)、○=概ね達成(8割以上)、△=やや未達成(6割以上)、×=未達成(6割未満)

VIII 令和4年度日田市アクションプランの達成指標・取組指標

1 学校評価4点セットの達成状況

令和4年度学校評価の4点セット 達成指標(学力)の評価	1学期	2学期	3学期	※学期末の評価を1～4で入力 (達成指標が複数ある場合は、平均を四捨五入した数値)
	3	3	3	

※プルダウンで数値を選択

2 取組指標

① 「新大分スタンダード」と自校の【③取組内容】に基づいて、単元計画と本時案(略案)を作成して、授業を担当する全教員が11月までに公開授業(互見授業含む)を実施する。	授業担当者数	授業を公開した教員の割合	
	14人	7月末時点	11月末時点
		79%	100%

※割合(%)は四捨五入して整数表示

② 管理職または教務主任等は、授業観察シートをもとに、経験の浅い教員(採用10年以内)1人に対し学期に3回以上授業観察を行う。	1学期	◎	2学期	◎	3学期	◎
	※プルダウンで○、×を選択					

③ 計画的に互見授業を実施し、全教員が学期に1回以上自校の教員の授業を参観する(校内研を除く)。	1学期	◎	2学期	◎	3学期	◎
	※プルダウンで○、×を選択					